

Anti human PPAR γ common mouse monoclonal antibody

PPAR γ : Peroxisome Proliferator-Activated Receptor

製品コード	PP-K8713-00 旧コード Z2K8713H
Clone No.	K8713
Lot.	A-2
濃度	1mg/mL
容量	100 μ L
Ig class	G2a
Nomenclature	NR1C3
Genebank	U79012
由来	ヒトPPAR γ 2 (2-136 aa) の Baculovirus 発現物を免疫した BALB/c マウスの脾臓細胞と、マウスミエローマ細胞 (NS-1) を融合して得たハイブリドーマを、BALB/c マウスに接種して得られた腹水。
特異性	ヒト PPAR γ 1, 2 と特異的に反応する。ヒト PPAR α , δ には反応しない。マウス PPAR γ 1, 2 と交差反応する。その他の動物種との交差反応は未検討。
精製法	硫酸塩析法
溶媒	生理的食塩水(防腐剤として0.1% NaN3添加)

Application 使用濃度は実験にあわせて至適化が必要です。

Western Blot	可 参考使用濃度 2 μ g/mL
非還元 Western Blot	未検討 参考使用濃度 -
ELISA	可 参考使用濃度 0.1 μ g/mL
免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調製してください
Supershift Assay	可 参考使用濃度 100 μ g/mL
クロマチン免疫沈降	可 参考使用濃度 適宜調製してください
免疫染色	未検討 参考使用濃度 -

保存方法 1ヶ月程度の保存の場合は、2~8 $^{\circ}$ Cで保存可能です。長期保存の場合は、抗体を小分けした上で、-20 $^{\circ}$ C以下での保存をお勧めします。また、凍結融解を繰り返すと、抗体が劣化し、本来の性能が得られない場合があるため、お避けください。

参考文献 Tanaka T, *et al.* J Atheroscler Thromb, 9(5): 233-241, 2002.

備考 溶媒に含まれるNaN3は、鉛や銅と反応し爆発性化合物を形成する恐れがあります。廃棄の際には大量の水と一緒に希釈して廃棄してください。

FOR RESEARCH ONLY. NOT FOR USE IN HUMANS.

本製品は研究目的のみで使用することができます。人やそのほか動物の疾病診断、治療・予防に使用することはできません。研究目的以外で使用する場合は、あらかじめ弊社にご相談ください。

MADE IN JAPAN

Aug 23, 2006